

シネマズライフ

2011年12月2日発行 第5号

<http://p.booklog.jp/book/36003>

貴樹諒音(たかぎりおん)

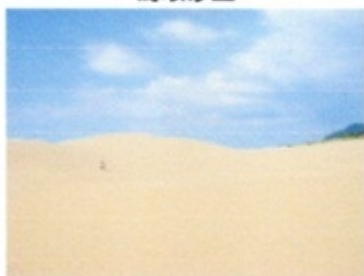
映画の風景 日本の風景

★ 鳥取県・鳥取砂丘 ★

日本にも砂漠の土地がある。先日、その砂漠から丁寧に埋葬された遺体が発見されたそう。かなり以前の遺体の為、由来はわからない。しかし、普通はそんな風習はないそう。日本でも、砂漠になにかを感じ遺体を埋葬した人達がいたのかもしれないというの不思議な事だと思ふのだ。

アラビアの人々ってアラビアの砂漠は、生活の一部。たかが水とはいえ、彼らにとっては命より大事なのだ。

鳥取砂丘



『アラビアのロレンス』という映画があった。…こんな映画だ。第一次世界大戦中、イギリス陸軍、情報部少尉のロレンスは、アラビア語と文化に詳しい為、オスマン帝国からの独立を主張するアラビア・ハーシム家のファイサル王子に会い、彼の真意を聞く事を命ぜられる。案内人にベドウィンを雇い王子の元に急ぐロレンスだが、案内人が井戸の水を盗んだ為殺されるところを目撃、砂漠の厳しさを実感させられるが、一方その神妙に魅せられてしまう。

『アラビアのロレンス』1962年(『完全版』1988年) イギリス映画
監督・デヴィッド・リーン 主演・ピーター・オトゥール オマー・シャリフ アンソニー・クイン アレック・ギネス

【完全版】が作られるまではほとんど女性が顔を見せない映画として有名でしたが【完全版】ではもう少し顔を見せています。

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します!



『レッドクリフ PartI』2008年
『レッドクリフ PartII -未来への最終決戦』2009年
ムービープラス-Movie Plus
アメリカ=中国=日本=台湾=韓国
監督:ジョン・ウー
出演:トニー・レオン 金城武 中村獅童
ヴィッキー・チャオリン・チャーリン

【PartI】12月10日(土) 13:15 12月14日(土) 21:00
【PartI-吹替版】12月27日(火) 13:30
【PartII】12月10日(土) 16:00 12月14日(土) 23:45
【PartII-吹替版】12月27日(火) 16:15

はるか昔の中国。若い皇帝を差し置いて権力の座に付こうとする曹操。彼の野望を阻止しているのは人徳者で知られる劉備玄德と覇権を狙う孫権。この二人を倒さないかぎり中国は曹操の思い通りにもなりません。

一方、劉備に仕える諸葛亮孔明は、孫権と組まなければ曹操を抑えられないと劉備を説いて孫権の元へ乗り込み、孫権が頼りにしている周瑜とお互いを認めるようになります。ここに劉備・孫権軍が成立。そして、赤壁で曹操軍と戦う事になります。

中国ではあまりにも有名な『三国志演義』の《赤壁の戦い》をベースに現代風にアレンジ、スベクタクルな戦闘シーンは映画史に残ります。

また、なんといっても諸葛亮孔明を演じる金城武を始め、トニー・レオン、中村獅童、リン・チャーリン、ヴィッキー・チャオなど美男美女揃いで見ているだけで目の保養になる映画でもあります。

『夕凧の街 桜の国』

チャンネルNECO
2007年 日本 監督:佐々部清 原作:こうの史代
出演:田中麗奈 麻生久美子 吉沢悠 中越典子
12月08日(木) 15:50 12月22日(木) 13:00
12月30日(金) 06:00

昭和33年・広島。平野皆実(あづま)は会社勤めをし、弟の旭(あさひ)は疎開先で暮らしている。母・フジミと平凡な日々を送っていました。ある日、皆実は会社の同僚の打越(うちごえ)からプロポーズを受けますがそれを素直に喜べません。実は、皆実は広島原爆で父・妹を亡くしており、妹は皆実の背中で亡くなっていて、事あるごとに妹の声が聞こえ助かった事に対する負い目が彼女の心を責めるのです。そんなある日、ついに皆実も体の変調が現れてきます。

そして現代・旭は結婚し東京に暮らし、娘の七波(ななな)と息子・凧(たか)と暮らしています。ところが、老境に入った旭が突然家を飛び出した為、驚いた七波は父を追跡。偶然出会った友達の東子(あづま)と共に追跡すると、旭が向かったのは広島。あまり聞いた事もない場所なので七波は驚きます。

広島原爆投下を基本テーマに、日本の人々に与えた悲劇を静かに描き、そして、これから何をすべきかを問いかける映画です。

未来を担う女性に田中麗奈と中越典子。二人の爽やかさは、暗い過去をも変えてくれる予感を感じさせてくれるのです。

☆【最近のこれはお見事!】は、見事な映画の題名の紹介しつづけて、【これは、まずいぞ!】は、これは、まずいぞ!と思う映画の題名を紹介しつづけて、

☆ ネットでも読める「ミ」誌です!主に映画の紹介とコラムです。よろしかったら、コメントで感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします! (c) 貴樹諒音

【最近のこれはまずいぞ!】『第7鉱区』

大ヒット映画、『第9地区』のバクリ。こちらは、深海生物らしい。そういえば、この手のバクリ映画でバクリの側は大概、宇宙人が深海生物になっっているんだよね。

2008年日本監督 塚本晋平 『ぼくたちと駐在さんの700日戦争』 出題 市原隼人 各々水鏡之介 論争 久美子

ちょっと昔の田舎町。リーダーのママチャリを筆頭に、悪たれ高校生軍団は町の駐在所の前の坂道に自転車で集合していた。スピード違反を厳しく取り締まる駐在さんと対決する為だ。

事の起りは、仲間の一人がバイクで走行中、スピード計測器にひっかかり罰則をくらった事から始まる。駐在所の前の道は坂道で、フツーに乗っていてもスピードが出るのは当然。そこでただでさえいたずら好きなママチャリ達は、報復を計画。それは駐在所の前を猛スピードで走らす事。しかし、自転車を何度も往復した為にあえなく御用。それから、「権力」を振り回す(笑)駐在さんとママチャリ達の熱い戦いが始まったのだ。花火を振り回しながら、駐在所の周辺



を自転車で乗り回し、罰として神社でボランテアをさせられたりと勝負は五分五分だ。

ところが、作戦会議をしていた喫茶店のお姉さんにママチャリが一目惚れしてしまうが、なんとそのお姉さんは、駐在さんの奥さん! ママチャリはますます駐在さんにライバル視するようになり、戦いは混戦気味に…。

今や人気俳優の一人・市原隼人が悪たれ高校生。がんばる駐在さんを佐々木蔵之介が演じます。

一昔前の悪たれ高校生を演じる市原隼人はまさにまわり役。あの笑顔を見ると心まで明るくなる…なんて俳優は最近珍しい俳優さんなのです。♡

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema

惑星探査機「はやぶさ」

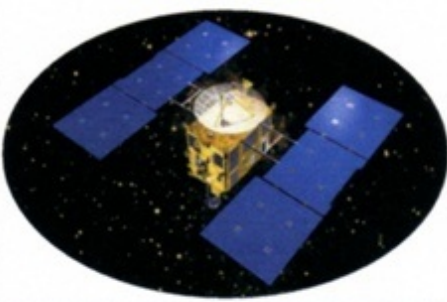
星は、見るのが一番いいのであって、落ちて来るのが一番わるい。 前編

二〇一〇年六月、小惑星探査機「はやぶさ」が、七年ものあいだに宇宙を旅して、二〇〇五年九月に小惑星「イトカワ」に近づき貴重な資料を持ち帰って地球に帰ってきた。

宇宙へ行き地球に帰ってきたというのは、人類史上初めての出来事だ。今年、映画『はやぶさ』が公開。来年は、渡辺謙の『はやぶさ 遥(はる)かなる帰還』、藤原竜也の『おかしな帰還』、はやぶさが公開される。たった一つの小惑星探査機で三つも映画が作られるとは珍しい事です。

『アラビアのロレンス』の主人公は砂漠が好きなのは「清潔だからさ」と答えているが、今や数々の紛争の舞台となつている砂漠は、「清潔」とは言えなくなっている。しかし、宇宙はやっぱり人間が月に行つたぐらいで、まだ、人類の「垢」がついていない。

『はやぶさ』の成功の喜びは、その「垢」がついていない宇宙へのあこがれと満身創痍ながら帰ってきた「はやぶさ」への頑張りを讃える意味でもあるのかもしれない。 つづく



小惑星「ITOKAWA」(イトカワ)

※編集後記※

☆一昔前には考えられなかったが、今や深夜にオンエアされるテレビドラマが、話題にのぼるようになった。注目を獲得するようになったのは、仲間由紀恵と阿部寛がトップスターになるきっかけになった『トリック』が大ヒットした事だろう。以来各局で、実験的なドラマとかがオンエアされている。とくに、向井理主演の『傍聴マニア09』、裁判長! (ここは懲役4年でどうすか)』などの力作も登場、最近ではもはや、視聴率を気にせず番組を作っている場合もあるやなしや(笑)。

その代表格が、『勇者ヨシヒコと魔王の城』なのではなからうか。監督・脚本は小劇団を率いて映画も監督している福田雄一。



昔の新人監督は日活ロマンポルノの監督をして実力を認められた人も多く、この深夜枠はその役割を担っているのかなっと思っっている。

【最近のこれはお見事!】『歴史は女で作られる』同感! それに男が気がついていないところが面白い。

☆寒い日々が続いております。皆さまも体調にお気をつけくださいませ。

